

IoT時代のモヤモヤを自宅で解消

ダウンロード・データあります

# メカニズム丸見え! ラズパイ AI サーバを作る

第23回 軽量仮想化 Docker の基本機能を  
ラズパイ My サーバで確認する

土屋 健

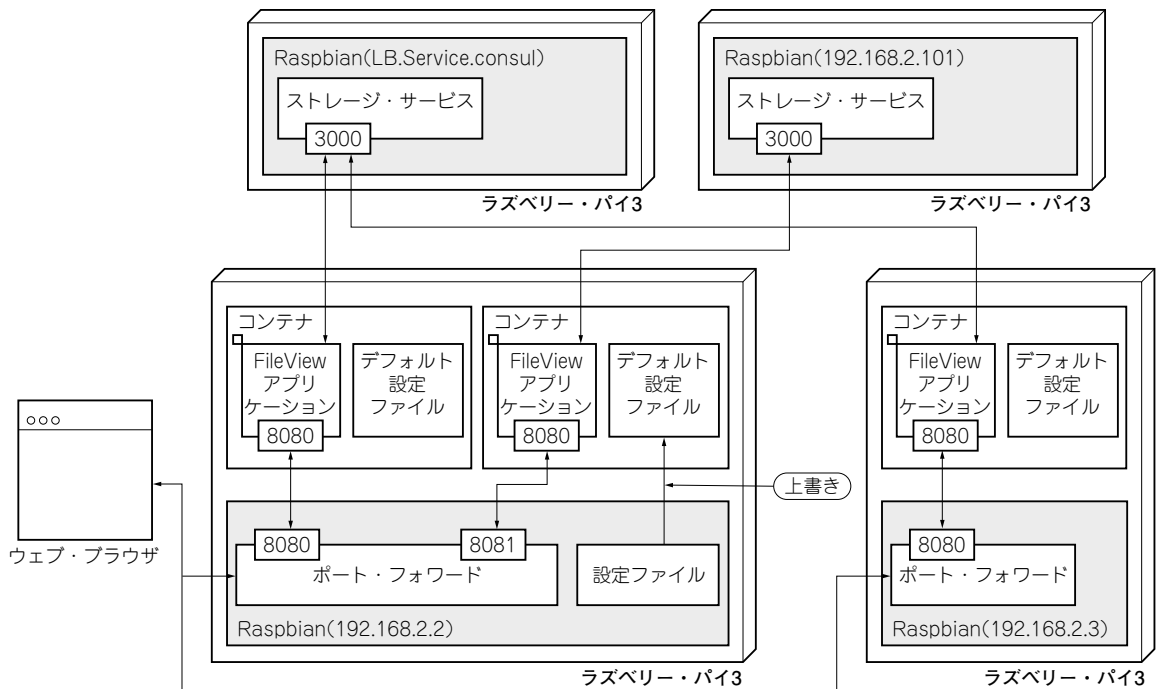


図1 定番の軽量仮想化 Docker でアプリがそれぞれ影響を与えないことを確かめる

仮想化技術の1つであるコンテナを使うと最小限のリソース消費でアプリケーション実行環境を仮想化できます。仮想環境の導入によりアプリケーション固有の実行環境を構築したり、セキュリティを向上させたりできます。

コンテナを使うにはCPUやメモリなどのハードウェア・リソースを割り当てる設定や、コンテナ内で使用するアプリケーションとライブラリをまとめたコンテナ・イメージの管理が必要です。コンテナ管理のデファクト・スタンダードとなっている Docker を使えば、煩雑な設定や管理をまとめて行えます。

前回は My サーバへ Docker のインストールを行いました。今回は、自前のアプリケーションをコンテナ

化したイメージを作成し、コンテナから My サーバにアクセスしてみます。今回作るウェブ・アプリケーションは、My ストレージ・サービスにファイルを保存したり、保存されているファイルをウェブ・ブラウザに一覧表示したりする簡単なものです。図1にシステムの構成を示します。

## 仮想コンテナ環境上のアプリに外部からアクセスするには

コンテナ環境は隔離されているので、外部からコンテナ上で動作しているアプリケーションへ直接アクセスできません。アプリケーションが動作するコンテナと外部とをつなぐポート・フォワードの設定が必要で